

第4回東濃中部の医療提供体制検討会 議事概要

1. 日 時 平成30年2月8日(木) 14時～16時

2. 場 所 土岐市文化プラザ特別会議室

3. 出席者

土岐市：加藤副市長、水野総務部長、酒井市民部長、伊藤総合病院長、田中同事務局長

瑞浪市：勝副市長、正村総務部長、宮本民生部長

JA岐阜厚生連：藤井代表理事理事長、谷口常務理事、塚本東濃厚生病院長、西脇同事務局長

事務局（土岐市）：林総合政策課長、田中主幹

4. 議事内容

(1) 議題

「東濃中部の医療提供体制の方向性の検討について」を議題に、別添資料をもとに事務局から説明後、構成員による検討を行った。

主な検討内容は以下のとおり。

<主な検討内容>

【第4回検討会での確認事項】

- 東濃中部の医療供給体制の方向性の検討会としての結論を出すため、これまでの検討会で議論を重ねた内容について、医師派遣元である大学医局や、地域の医師会などの第三者である有識者から専門的な立場としての意見を聴取した。
- 有識者5名のうち4名から「東濃中部の医療提供体制の方向性（案）」について、医師確保や医療需要等の観点から妥当であるとの評価があり、1名から高度急性期、急性期、回復期の配置について、さらに検討が必要との観点からどちらとも言えないとの評価を得た。
- 各有識者からの意見を踏まえ、具体的な手法やスケジュール感、病床機能の配置、既存施設の利活用等今後協議をしていくべき内容は多くあるものの、東濃中部の医療提供体制の方向性として、大筋で1病院化という方向で検討することは、妥当であると言える。
- 病床機能のあり方については、今後調整するものの、急性期といっても脳神経外科と心筋梗塞の治療となると、集中治療やハイケアは必要となることから、「急性期に高度急性期を含む」との表記を加えるべき。
- 1病院化までの間に次善策である病床機能分担を行うのであれば、あえて次善策を結論に標記しなくても、評価表に記載があるため削除する。
- これまで4回実施した検討会での検討を踏まえ、検討会の結論として「病床整理の方向性として1病院化（統合）が最も適当」であることに基本的に合意する。最終的な検討結果については、有識者からの意見と検討会での議論を踏まえ、事務局が修正後に3者で内容を確認し、議事概要と合わせて正式に公表する。